

日常生活の指導 学習指導案

あさひ子学級 1組 6名 指導者 谷口 誠 二

本授業は、以下の検証を行うものである。

- 「子どもと進める授業」は、子どもが主体的に活動することに有効であったか。
- 子どもが相手とかかわり合いながら活動できる内容であったか

1 題 材 進んで楽しく活動しよう

2 題材について

(1) 題材の価値

本学級においては、1校時に「日常生活の指導」の時間を帯状に設定し、朝の会を中核に据え、様々な指導を展開している。

本題材は、子どもが、毎日、一定時刻にほぼ同じような活動を繰り返し行うことで、一日の見通しをもち、情緒を安定させて学校での生活をスタートすることができる格好の題材といえる。また、子どもは、朝の会をはじめとする様々な活動や役割を行う中で、学級の一員として大切な役割を果たす効力感を感じたり、活動における自分の成長や上達から成就感や満足感を得たりすることができる。

例えば、子どもは、毎日黒板に書かれた教師からのメッセージ（モーニングメッセージ）や日にち、天気を読む活動を行っている。その後、大型カレンダーで昨日の行事を振り返ったり、その日や数日後に控えている活動への見通しをもったりすることができる。また、カレンダー学習では、「おととい」「きのう」「きょう」「あした」「あさって」「しあさって」のカードを貼ることで、子どもは時系列的な感覚を身に付けたり、日にちの用語を理解したりすることができる。更に、曜日毎に設定している活動に取り組むことで、曜日に対する感覚も身に付けることができる。このように、子どもはこの題材における活動を通して様々な力を獲得していくことができる。ほかに、あいさつの仕方や言葉づかい、集団での決まり、当番活動における自分の役割、身辺処理の自立など、様々な力を身につけていくことができる。そして、子どもはみんなできいきと楽しく活動することにより、主体的に活動し、共に学び合いかわり合う中で、基本的生活習慣の定着を図り、豊かに生きる力を育てていくことにつながるものと考えている。

(2) 子どもの実態

子どもは、この題材における活動や役割を繰り返し行う中で、各自の課題を1つずつ解決している。この題材における子どもの現段階での主な課題は次の通りである。

児童(学年)	性別	主 な 課 題
A(1年)	女	○ 席に座って話を聞くことができる。 ○ 名前を呼ばれたら返事をするすることができる。
B(1年)	女	○ 落ち着いて教師や友達の話を最後まで聞くことができる。 ○ 見通しをもって当番活動を最後までやりやり遂げることができる。
C(5年)	男	○ 集団の中で友達と共に行動することができる。 ○ 着席すべき時に着席し課題に取り組むことができる。
D(6年)	男	○ 言葉を介して、友達とやりとりをすることができる。 ○ 平仮名や漢字で書かれた文を読むことができる。
E(6年)	男	○ 相手が聞き取れる程度の音量で話すことができる。 ○ 言葉を介して、友達とやりとりをすることができる。
F(6年)	女	○ 学習に参加することができる。 ○ 集団の中で友達と共に行動することができる。

(3) 指導に当たって

子どもが各自の課題を解決できるように、繰り返しの活動を設定するとともに、称賛を十分に行うようにする。また、繰り返しの活動に当たっては、活動内容に広がりや深まりをもてるように徐々に変えるようにする。

3 年間目標

- (1) 楽しい雰囲気の中で活動することにより、情緒の安定を図るとともに、今日の日やこれからの生活に楽しみや見通しをもつことができるようにする。
- (2) 当番活動を進んで行ったり、活動への取組の充実を図ったりすることができるようにする。
- (3) 場面に応じた挨拶や、相手とのやりとりができるようにする。
- (4) 文字・文章・数・音楽に親しみ、関心をもつことができるようにする。
- (5) 時間や時刻が分かり、「今日、明日」などの時を表す言葉を分ることができるようにする。
- (6) 話す、聞く、読むなどの学習の基礎を身に付けることができるようにする。

4 指導の実際

[] 子どもの意識

☞ 指導の手立て ※評価

時間	形態	主な学習活動と指導の手立て・評価	
10	みんなで 一人で みんなで	1 朝の会をする。 (1) 朝の挨拶をする。 (2) 健康観察をする。	<p>子どもが会を進められるように、「朝の会の進め方」カードを準備しておく。</p> <p>※ よい姿勢であいさつをしたり、言葉のやりとりをしたりすることができる。</p>
		<p>・○○さんは大きな声だな。私も大きな声で挨拶をするぞ。</p> <p>(3) 今月の歌を歌う。</p> <p>・少し恥ずかしいな。 ・1年生に聞こえるように歌うぞ。</p> <p>※ 適切な音量で歌うことができるように歌詞に注目させ、教師自らが、一音一音指さしながらはっきりと歌う。</p> <p>※ 歌詞に注目し大きな声と笑顔で歌うことができる。</p>	
35	ペアで	2 当番活動をする。	<p>子ども自らが当番活動を進めることができるように、活動の様子を撮った写真と活動内容を文字で表したカードを用いる。</p> <p>当番活動が終了したら、教師に「終わりました。」と伝えることで、活動の区切りをつけさせるようにする。教師は、「やったマーク」を子どもに与え、活動終了の達成感をもつことができるようにする。</p> <p>※ 進んで当番活動に取り組むことができる。</p>
		3 モーニングメッセージを読む。	<p>音読や平仮名の拾い読みに対する自信が深まるように、よかったところを話し、大いに称賛する。</p> <p>※ 単語のまとまりに気を付け、間を開けて大きな声で読むことができる。</p>
	みんなで	4 時間割表で一日の見通しをもつ。	<p>今日の予定や一週間の楽しみや見通しをもつことができるように、カレンダーや時間割を確認する活動を設定する。</p> <p>※ 「今日」「明日」などのカードを所定の場所に貼ることができる。</p>
		5 曜日別課題をする。	<p>次の学習開始時刻を確認できるように、模型時計を準備し、開始時刻を表す活動を設定する。</p>
	みんなで	6 次の学習の開始時刻を確認する。	